

適用規格					
定格	電圧	AC 250V	使用温度範囲	-30℃ ~ +85℃ (注1)	
	電流	2A	保存温度範囲	-10℃ ~ +60℃ (注2)	
性 能					
	項目	試験方法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致すること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的性能	接触抵抗	100mA (DC又は1000Hz) で測定する。	30mΩ以下	○	-
	絶縁抵抗	DC 500Vで測定する。	1000MΩ以上	○	-
機械的性能	耐電圧	AC 650Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	-
	繰り返し動作	50回の抜き差しを行う。	①接触抵抗：30mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
	耐振性	周波数10~55Hz、片振幅0.75mm、3方向 各2時間試験する。	①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
環境的性能	耐衝撃性	加速度490m/s <sup>2</sup> 、持続時間11ms、正弦半波3方向 各3回試験する。	①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
	定常状態の耐湿性	温度+40±2℃、湿度90~95%の条件で、96時間放置後、試験する。	①接触抵抗：30mΩ以下 ②絶縁抵抗：500MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
	温度サイクル	温度 -55 → +5~+35 → +85 → +5~+35℃ 時間 30 → 5~15 → 30 → 5~15分 を5サイクル 試験する。	①接触抵抗：30mΩ以下 ②絶縁抵抗：1000MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
	半田耐熱性	【 リフロー半田付けの場合 】 《 リフロー部 》 MAX 240℃ 10秒以内 220℃以上 30秒以内 《 予熱部 》 150℃ 100~120秒 リフロー炉に2回通し、常温常湿中に1時間放置後、試験する。 【 手半田の場合 】 半田ごてで290±10℃、3秒の条件にて半田付けを行う。 但し、端子に力を加えないこと。	外観の変形及び端子等に著しいかたがないこと。	○	-
	半田付け性	半田温度 230±5℃、 浸漬時間 3秒間の半田付けを行なう。	半田浸漬面の95%以上が新しい半田で濡れていること。	○	-
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△					
備考 (注1) 通電時の温度上昇を含みます。 (注2) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温度範囲を適用。 試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。			承認	TY. OMA	05.08.23
			検図	HK. UMEHARA	05.08.23
			担当	IO. DENPOUYA	05.08.22
			製図	FK. MATSUKI	05.08.11
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目		図番		SLC4-310527-01	
<b>HRS</b>	製品規格表		製品名	DF11G-*DP-2V (50)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL543	△ 1/1